Power Automateで実施する



児童生徒アカウントのTeamsへの一括登録

全体のイメージ・事前準備 児童生徒アカウントのTeamsへの一括登録

【校務DXの<mark>アイデア</mark>】



1. チームの準備

児童生徒が参加するチームを作成します。



ここでは、上記『【Power Automate】テストチーム」に児童生徒を招待する例で説明します。

2. 児童生徒アカウントの準備

児童生徒のアカウント一覧(Excelファイル)をOneDrive上に作成します。



ここでは左図のように、OneDrive上に「**【PowerAutomate】生徒アカウントー括登録**」 というフォルダを作成し、そのフォルダ内にExcelファイルを作成する例で説明します。

①左上の「新規追加」から「Excelブック」を選択



②Excelに児童生徒氏名とアカウントを入力し、
範囲選択 → 挿入 → テーブル を選択
※管理台帳等から貼り付けてください
※学年やクラス等の項目があっても大丈夫です

④「テーブルデザイン」タブをクリックし、テーブル名を確認 ※デフォルトでは「**テーブル1**」になります Power Automateの全体概要

① トリガーコマンド







上記フローの場合は、2つの チームに追加されます

Power Automateの起動

①Microsoft365等からPower Automateを起動



②フロー名の設定

Power Automateの作成開始

最初の画面の確認

Power Automate作成 児童生徒アカウントのTeamsへの一括登録

Excel Online (Business)

Excel Online (Business) コネクタを使用すると、Microsoft Graph でサポートされ

Excel情報の取得

ているドキュメ	ント ライブラリ (OneDrive for Business、SharePoint 続きを読む
SharePoint ライブラリカ	らスクリプトを実行する
スクリプトの実行	\odot
ワークシートの取得	0
行の削除	0
行の取得	0
行の更新	0
表内に存在する行を一覧	表示
イ ーブルの作成	0
	III Power Automate
	← 戻る Teamsへ一括登録
	■ 表内に存在する行を一覧表示 : 《
	パラメーター 設定 コードビュー テスト 詳細
	OneDrive for Business
(5)	ドキュメント ライブラリ*
	ファイル*
6	/【PowerAutomate】生徒アカウントー括登録/生徒アカウント.xlsx
	テーブル*
$\overline{\mathcal{O}}$	テーブル1 ~

このページの流れ ①「+」ボタン ②「Excel」と検索 ③「表示を増やす」 ④「表内に存在する行を一覧 表示」を選択 ⑤プルダウンからそれぞれ 選択 場所 \rightarrow One Drive for Business ドキュメントライブラリ →ドキュメント ⑥スライド3で作成したExcel

⑦「テーブル1」を選択

のExcelファイルを選択

ファイルの保存フォルダから該当

Power Automate作成 児童生徒アカウントのTeamsへの一括登録

チームへの追加

<u> グループ イベントを雨新</u>

トリガーの実行

Power Automate実行後のチームの様子 Excelに記載のある4名のアカウントが追加されました